

きもの 「着物」 ほん さが かた についての本の探し方

☆「パスファインダー」とは?☆

「パスファインダー」とは、あるテーマについて調べたいと思ったときに役に立つ本や、情報の探し方についてまとめたものです。このパスファインダーでは「着物」についての本や情報の探し方を紹介します。

1. キーワードをあつめましょう

調べ物をする時は、キーワードをたくさんあつめることがポイントです。

「着物」から思いつく言葉を書き出してみましょう。

ゆかた
浴衣

はおり
羽織

せいじんしき
成人式

きつ
着付け

しちごさん
七五三

じゅうにひとえ
十二単

れきし
歴史

きもの
着物の種類



2. 辞書・事典で調べてみましょう

①まずは、辞書や百科事典・図鑑などで「着物」について調べて、その文章の中からさらにキーワードをみつけましょう。

☆赤いラベルに「R」の文字がついている辞書や辞典は貸し出しできません。

☆請求記号とは本のある場所をしめしています。

書名	著者	出版社	出版年	請求記号
時代考証家のきもの指南 歴史・文化・伝統がわかる	山田 順子 // 著	徳間書店	2019年	383.1/ヤマ (一般室に あります)
総合百科事典ポプラディア 16	千葉 均 // 発行	ポプラ社	2021年	R/031/ソウ
日本大百科全書 24	秋庭 隆 // 編著	小学館	1988年	R/031/ニホ

※総合百科事典ポプラディア・日本大百科全書では「和服」で調べています

②インターネットのデータベースや検索サイトで、キーワードを集めましょう。

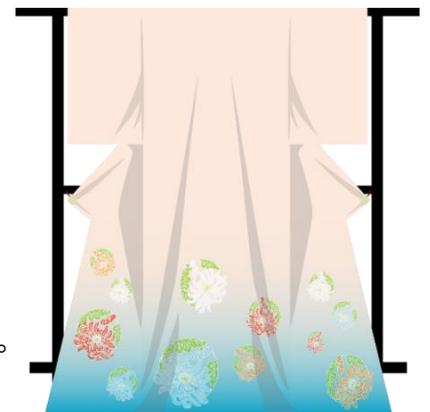
調べたいテーマを選び、検索をするとそれに関連した情報がホームページに紹介されています。データベースとは、大量のデータをまとめて検索をしやすい形に整理したものです。

★「Yahoo! きっず」 <https://kids.yahoo.co.jp/>

小・中学生のためのホームページです。

★「学研キッズネット」 <https://kids.gakken.co.jp/>

学研がつくっている小・中学生のためのホームページです。





3. 本を探してみましよう

知りたいことがみつかったら、そのことについてくわしく書かれた本を探してみましよう。

☆同じ請求記号の場所には、似たような内容の本が並んでいます。

しよめい 書名	ちよしゃ 著者	しゅっぱんしゃ 出版社	しゅっぱんねん 出版年	せいきゅうきごう 請求記号
きもの 着物のえほん	たかの のりこ さく 高野 紀子 // 作	あすなるしよぼう あすなる書房	2009ねん	383/キモ
きもの だいけんきゅう わ ぶんか に ふ 着物の大研究 和の文化に触れてみよう!	ばば まみ // かんしゅう 馬場 まみ // 監修	PHPけんきゅうしよ PHP研究所	2006ねん	593/キモ
わふく 和服がわかる本	こどもくらぶ // へん こどもくらぶ // 編	いわさきしよてん 岩崎書店	2016ねん	383/ワフ

4. 新聞・雑誌で調べましよう

図書館には色々な新聞や雑誌をおいています。新しい新聞や雑誌では最近のニュース、古い新聞や雑誌ではその当時のニュースを知ることができます。昔の新聞や雑誌は書庫に入っていることもあるので、図書館の人に聞いてください。

5. インターネットで調べましよう

インターネットの情報は、まちがっていたり、古かったり、時間がたつと消えてしまうこともあります。使う時には、正しいかどうかをしっかりみきわめましよう。

★KOGEI JAPAN

https://kogeijapan.com/locale/ja_JP/

あわ おり にしじんおり おりもの か がゆうぜん そめもの れきし せいさくこうてい
阿波しじら織や西陣織といった「織物」、また加賀友禅などの「染物」の歴史や制作工程を
くわ しょうかい
詳しく紹介しています。

★きものレシピ

<https://blog.kimonorecipe.com/>

きもの れきし しゅるい がら いみ きつ しょうかい
着物についての歴史、種類、柄の意味、また着付けのポイントなどを紹介しています。

★西陣織工業組合（西陣織会館）

<http://nishijin.or.jp/>

きょうと こうきゅうきぬおりもの にしじんおり れきし ひんしゆ くわ しょうかい
京都の高級絹織物である西陣織の歴史や品種などが詳しく紹介されています。



6. 外に出て調べてみましょう

着物は日本の民族衣装であり、海外からの評価も高い伝統文化のひとつです。

徳島市国府町にある「長尾織布合名会社」では、阿波しじら織の工場見学と藍染の体験が可能です。
(長尾織布合名会社 <https://awa-shijira.com/>) また、京都府には京友禅の制作過程を見学
できる工房が数カ所あります。(京都友禅共同組合 <https://kyo-yuzen.or.jp/jigyo/factories/>)

着物は、日本各地の風土に合わせて発達してきました。今でこそ着物というと特別な印象がありますが、洋服が輸入されるまでは着物が日本人の普段着だったのです。時代が進み、機械で
生産される着物も多くありますが、すべてが手作りで制作された着物のすばらしさ、美しさは
何とも言えません。そこには、ものづくりの大国である日本の繊細な技術や職人の心が詰まっ
ています。

ぜひ一度、工房に足を運んでみてください。種類、作り方、柄の意味。そして、着物作りに関
わっている職人さんの想いを感じられることでしょう。

なにかわからないことがあるときや
探している本が見つからないときは
図書館の人にきいてくださいね。

徳島市立図書館

住所 〒770-0834

徳島市元町1丁目24番地 アミコビル内

電話番号 088-654-4421